



## 平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 22年 7月 29日  
上場取引所 東・名

上場会社名 愛三工業株式会社

コード番号 7283 URL <http://www.aisan-ind.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 小林 信雄

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 植木 洋次郎 TEL 0562(47)1131

四半期報告書提出予定日 平成 22年 8月 6日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期 第1四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	37,274	38.9	2,061	-	1,925	-	1,305	-
22年3月期第1四半期	26,826	△ 41.1	△ 1,154	-	△ 929	-	△ 302	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	23.53	-
22年3月期第1四半期	△ 5.46	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	124,171	62,043	48.7	1,088.72
22年3月期	122,353	61,285	48.9	1,077.21

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 60,411 百万円 22年3月期 59,772 百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	-	6.00	-	8.00	14.00
23年3月期	-	-	-	-	-
23年3月期(予想)	-	-	-	-	-

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

23年3月期の配当につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	76,000	26.6	3,500	-	3,100	-	2,000	424.6	36.04
通 期	140,000	1.8	5,500	26.3	4,900	10.7	2,500	58.2	45.05

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

4. その他 (詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。)

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

23年3月期 1Q	55,509,096 株	22年3月期	55,509,096 株
23年3月期 1Q	20,746 株	22年3月期	20,644 株
23年3月期 1Q	55,488,402 株	22年3月期 1Q	55,488,761 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示)

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

(※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項)

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
2. 配当予想につきましては、経営環境の先行きが不透明であることから、現時点では未定とし、業績の進捗等を見きわめた上で、第2四半期決算を目処に提案させていただきたいと考えております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. <参考>四半期個別財務諸表（要約）	10
(1) 四半期個別貸借対照表	10
(2) 四半期個別損益計算書	10
5. 補足情報	11
連結売上高明細	11

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におきましては、各国政府の経済対策の効果などにより、景気は緩やかに回復してきました。日本経済におきましても、個人消費の持ち直しや海外経済の改善を背景とした輸出、生産の増加などから、景気は持ち直してきました。

また、自動車業界におきましては、ハイブリッド車など環境対応車や新興国向けなどを中心に生産が持ち直してきました。

当第1四半期連結累計期間の業績といたしましては、売上高は372億7千4百万円と前年同期に比べて38.9%の増収となり、営業利益は20億6千1百万円（前年同期は営業損失11億5千4百万円）となりました。また、経常利益は19億2千5百万円（前年同期は経常損失9億2千9百万円）となり、四半期純利益は13億5百万円（前年同期は四半期純損失3億2百万円）となりました。

地域別の業績は次のとおりであります。

## [日本]

売上高は243億6千7百万円（前年同期比22.9%増）となり、  
営業利益は3億5千6百万円（前年同期は営業損失13億9千6百万円）となりました。

## [アジア]

売上高は91億7千1百万円（前年同期比95.6%増）となり、  
営業利益は16億4百万円（前年同期比218.8%増）となりました。

## [北米]

売上高は47億6千7百万円（前年同期比82.0%増）となり、  
営業利益は1億1千万円（前年同期は営業損失1億3千9百万円）となりました。

## [欧州]

売上高は21億7千3百万円（前年同期比22.9%増）となり、  
営業損失3千2百万円（前年同期は営業損失1億6千3百万円）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は現金及び預金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ18億1千7百万円増加し、1,241億7千1百万円となりました。負債は、未払費用の増加などにより前連結会計年度末に比べ10億5千9百万円増加し、621億2千7百万円となりました。

また、純資産は利益剰余金の増加などにより前連結会計年度末に比べて7億5千7百万円増加し、620億4千3百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ15億1千1百万円増加し、176億2千万円となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、35億7千4百万円の収入となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益や減価償却費によるもので、前年同期に比べ17億4千8百万円の収入増加となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、12億4千3百万円の支出となりました。これは主に固定資産取得によるもので、前年同期に比べ3億7千6百万円の支出減少となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、6億8千5百万円の支出となりました。これは主に配当金の支払によるもので、前年同期に比べ3億3千2百万円の支出減少となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、景気は緩やかな持ち直しが続くものの、欧州での金融不安などにより不透明な状況であります。

また、自動車業界におきましては、引き続き新興国での市場拡大が見込まれますものの、各国の新車買い替え奨励策が順次終了することにより、販売の反動減が予想されます。

このような状況のなかで、第2四半期連結累計期間の業績につきましては、足元の販売動向を踏まえ、売上高760億円（前年同期比26.6%増）、営業利益35億円（前年同期は営業損失1億7千7百万円）、経常利益31億円（前年同期比21.7倍）、四半期純利益20億円（前年同期比424.6%増）に修正いたしました。詳細につきましては、平成22年7月29日開示の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、通期の連結業績予想につきましては、下期の経済環境や自動車市場の先行きが不透明な状況を踏まえ、平成22年4月27日公表の連結業績予想値を据え置くことといたします。

## 2. その他の情報

## (1) 重要な子会社の異動の概要（連結の範囲の変更に伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

なお、当第1四半期連結会計期間より、愛三熊本(株)を新規連結しております。

これにより連結子会社数は、前連結会計年度末より1社増加し、24社となっております。

## (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便的な会計処理)

たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては実地たな卸を省略し、前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

## (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、従来の方法によった場合に比べ、税金等調整前四半期純利益は2千6百万円減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,703	15,288
受取手形及び売掛金	24,343	25,566
有価証券	907	893
商品及び製品	3,448	3,260
仕掛品	3,889	3,418
原材料及び貯蔵品	5,774	5,298
未収還付法人税等	313	161
繰延税金資産	4,487	4,562
その他	3,714	3,679
貸倒引当金	△189	△155
流動資産合計	64,394	61,973
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	15,387	14,831
機械装置及び運搬具（純額）	23,584	24,066
土地	5,242	5,235
建設仮勘定	2,579	1,824
その他（純額）	2,032	2,104
有形固定資産合計	48,827	48,062
無形固定資産		
のれん	518	572
その他	1,087	1,132
無形固定資産合計	1,605	1,704
投資その他の資産		
投資有価証券	2,095	3,147
繰延税金資産	3,547	3,613
その他	3,757	3,903
貸倒引当金	△55	△51
投資その他の資産合計	9,344	10,613
固定資産合計	59,776	60,380
資産合計	124,171	122,353

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,558	19,442
短期借入金	3,659	3,738
1年内返済予定の長期借入金	2,362	2,355
未払費用	7,863	6,589
未払法人税等	426	481
製品保証引当金	5,845	7,142
役員賞与引当金	43	133
その他	7,159	6,054
流動負債合計	46,918	45,936
固定負債		
長期借入金	5,987	6,073
退職給付引当金	7,891	7,638
役員退職慰労引当金	263	367
その他	1,066	1,051
固定負債合計	15,209	15,131
負債合計	62,127	61,068
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,488	7,488
資本剰余金	9,490	9,490
利益剰余金	46,070	45,320
自己株式	△20	△20
株主資本合計	63,029	62,279
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	394	554
繰延ヘッジ損益	△4	△4
為替換算調整勘定	△3,008	△3,056
評価・換算差額等合計	△2,618	△2,506
新株予約権	218	217
少数株主持分	1,413	1,295
純資産合計	62,043	61,285
負債純資産合計	124,171	122,353

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	26,826	37,274
売上原価	25,440	32,342
売上総利益	1,386	4,931
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	307	368
給料及び手当	1,049	1,057
製品保証引当金繰入額	25	39
役員賞与引当金繰入額	28	36
退職給付費用	92	84
役員退職慰労引当金繰入額	19	18
その他	1,018	1,266
販売費及び一般管理費合計	2,540	2,869
営業利益又は営業損失(△)	△1,154	2,061
営業外収益		
受取利息	15	22
受取配当金	17	21
投資有価証券評価損戻入益	29	—
雇用調整助成金	224	—
雑収入	76	81
営業外収益合計	363	125
営業外費用		
支払利息	51	48
為替差損	58	183
雑損失	27	29
営業外費用合計	137	261
経常利益又は経常損失(△)	△929	1,925
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	1
新株予約権戻入益	—	25
特別利益合計	—	26
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	26
特別損失合計	—	26
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△929	1,926
法人税、住民税及び事業税	107	256
法人税等調整額	△707	265
法人税等合計	△600	521
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,404
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△26	98
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△302	1,305



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△929	1,926
減価償却費	2,259	2,055
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△584	△1,349
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△67	△89
退職給付引当金の増減額(△は減少)	220	251
前払年金費用の増減額(△は増加)	82	86
受取利息及び受取配当金	△32	△44
支払利息	51	48
売上債権の増減額(△は増加)	△419	1,414
たな卸資産の増減額(△は増加)	346	△1,034
仕入債務の増減額(△は減少)	358	△113
その他	888	829
小計	2,174	3,981
利息及び配当金の受取額	32	40
利息の支払額	△51	△45
法人税等の支払額	△329	△401
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,826	3,574
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△1,626	△984
その他	5	△259
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,620	△1,243
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△480	△42
長期借入金の返済による支出	△110	△87
配当金の支払額	△332	△443
少数株主への配当金の支払額	△60	△50
その他	△33	△60
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,017	△685
現金及び現金同等物に係る換算差額	64	△178
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△747	1,467
現金及び現金同等物の期首残高	12,093	16,108
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	44
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,345	17,620

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## 【事業の種類別セグメント情報】

事業の種類として「自動車部品」および「自動車部品以外」に区分しておりますが、全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占める「自動車部品」の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

## 【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(21.4.1~21.6.30)

(単位:百万円)

区 分	日 本	ア ジ ア	北 米	欧 州	計	消去又は全社	連 結
売 上 高							
(1)外部顧客に対する売上高	18,010	4,474	2,599	1,741	26,826	—	26,826
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,813	214	19	27	2,074	△ 2,074	—
計	19,823	4,689	2,618	1,769	28,901	△ 2,074	26,826
営業利益又は営業損失(△)	△1,396	503	△139	△163	△1,196	42	△1,154

(注)1. 国または地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する地域の内訳は、次のとおりであります。

(1)アジア 韓国、中国、インドネシア 他

(2)北 米 米国

(3)欧 州 チェコ、フランス、ベルギー

## 【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(21.4.1~21.6.30)

(単位:百万円)

	ア ジ ア	北 米	そ の 他	計
海 外 売 上 高	4,777	2,834	2,109	9,722
連 結 売 上 高				26,826
連結売上高に占める 海外売上高の割合	17.8%	10.6%	7.8%	36.2%

(注)1. 国または地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する地域の内訳は、主に次のとおりであります。

(1)アジア 韓国、中国、インドネシア 他

(2)北 米 米国、カナダ

(3)その他 フランス 他

## 【セグメント情報】

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち独立した財務情報が入手可能であり、取締役会等の経営決定機関が経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に国内および海外の自動車メーカー向けにフューエルポンプモジュール、スロットルボデー、キャニスタ等の自動車部品を国内においては主に当社が、海外においては各国現地法人が、それぞれ製造・販売を行っております。

現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、各地域において事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、製造・販売を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「アジア」(主に韓国、中国、インドネシア)、「北米」(米国)および「欧州」(チェコ、フランス、ベルギー)の4つを報告セグメントとしております。なお、「日本」セグメントでは、自動車部品の製造・販売他、自動車運送取扱業、土木建設業、コンピュータシステムおよびプログラムの開発・販売等の事業を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結会計期間 (22.4.1~22.6.30)

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	日本	アジア	北米	欧州			
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	21,514	8,896	4,740	2,123	37,274	—	37,274
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,852	275	27	50	3,206	△ 3,206	—
計	24,367	9,171	4,767	2,173	40,480	△ 3,206	37,274
セグメント利益又は損失(△)	356	1,604	110	△32	2,039	22	2,061

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額22百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 4. &lt;参考&gt; 四半期個別財務諸表(要約)

## (1) 四半期個別貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	期 別	当第1四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前会計年度末 (平成22年3月31日)
(資産の部)			
流 動 資 産		39,809	39,498
現金及び預金		9,504	7,114
受取手形及び売掛金		16,000	18,331
その他		14,304	14,052
固 定 資 産		61,136	62,207
有形固定資産		29,354	29,572
建物及び構築物		9,200	9,158
機械及び装置		12,659	13,275
その他		7,494	7,138
無形固定資産		605	661
投資その他の資産		31,176	31,973
合 計		100,946	101,706
(負債の部)			
流 動 負 債		33,118	33,558
固 定 負 債		13,195	13,004
負 債 計		46,313	46,563
(純資産の部)			
株 主 資 本		54,014	54,366
資本金		7,488	7,488
資本剰余金		9,490	9,490
利益剰余金		37,055	37,407
自己株		△ 20	△ 20
評価・換算差額等		400	558
その他有価証券評価差額金		400	558
新株予約権		218	217
純 資 産 計		54,633	55,142
合 計		100,946	101,706

## (2) 四半期個別損益計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別	前第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売 上 高		18,756	23,105
売上総利益		18,400	21,250
売上総利益		356	1,854
販売費及び一般管理費		1,622	1,553
営業利益又は営業損失(△)		△ 1265	301
営業外収益		324	86
営業外費用		43	195
経常利益又は経常損失(△)		△ 984	192
特別利益		—	25
特別損失		—	26
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)		△ 984	191
法人税、住民税及び事業税		27	11
法人税等調整額		△ 769	88
四半期純利益又は四半期純損失(△)		△ 242	91

## 5. 補足情報

## 連結売上高明細

(単位：百万円)

期 別 製 品 名		前第1四半期連結累計期間 (21. 4. 1～21. 6. 30)		当第1四半期連結累計期間 (22. 4. 1～22. 6. 30)	
		金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
自 動 車 部 品	電子制御燃料噴射製品	15,142	56.4	20,976	56.3
	〔フューエルポンプモジュール〕	7,463	27.8	10,281	27.6
	スロットルボディ	5,003	18.7	7,379	19.8
	インジェクタ	1,057	3.9	1,426	3.8
	吸気モジュール	1,094	4.1	1,280	3.4
	〔その他〕	523	1.9	607	1.7
	キャニスタ	3,630	13.5	5,082	13.6
	エンジンバルブ	2,035	7.6	2,547	6.8
	キャブレタ	499	1.9	612	1.6
	その他	4,603	17.2	6,904	18.6
小 計	25,911	96.6	36,122	96.9	
自動車部品以外		914	3.4	1,152	3.1
合 計		26,826	100.0	37,274	100.0